

ペルー日系信用組合を通じた 中小零細事業者支援事業（BL劣後融資）



日系人を起源とした信用組合と共に、ペルーの中小零細事業者を支援

事業概要

1981年に日系人が創立した信用組合アバコに対し、資本性の劣後融資（海外投融資）を供与することで、アバコによる中小零細事業者（SMEs）またはマイクロファイナンス機関を経由した間接の融資を促進し、SMEsの金融アクセス改善を図るもの。

インパクト

1. 信用組合の資本政策を支援する資本性劣後融資

信用組合であるアバコの資本は、組合員の組合費及び内部留保蓄積に限定される。ペルーで資本として認められる劣後融資を供与することで、アバコによる資本規制を順守したSMEs向け融資拡大を支援。

2. 日系社会と共に開発課題解決に取り組む

アバコは日系人が日本の頼母子講の考え方を基に創立。相互扶助を哲学に掲げ、金融アクセスが限定的な地方のSMEsを支援。アバコと共にSMEsを支援する本事業は、日系社会との新たな関係を示すもの。

3. IDB Lab、ミュージックセキュリティーズとの連携

米州開発銀行グループのIDB Labとの初の協調融資。アバコは、ミュージックセキュリティーズが運営するマイクロ投資クラウドファンディング・プラットフォーム「セキュリテ」を通じて、日本の個人投資家から資金を調達し、農業事業者向け融資に活用中。

